

全建発第30～225号
平成30年11月22日

一般社団法人 全日本建設技術協会

会 長 大 石 久 和

印省略

第650回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるためのi-Constructionの取り組み、AIやロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第650回建設技術講習会の道路行政では、最新の道路行政施策、道路の老朽化対策、道路防災、交通安全対策、道路のストック効果、道の駅による地方創生の取り組み事例、ICTを活用したITSの推進など、港湾・漁港行政では、最新の港湾・漁港行政施策、防災・減災対策、港湾施設の維持管理、港湾施設のストック効果、港湾施設を核とした地域振興、港湾事業におけるICT活用、国際競争力の強化などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
印省略

第650回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、平成31年1月23日(水)～25日(金)、佐賀市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、道路部門では最新の道路行政施策、道路の老朽化対策、道路防災、交通安全対策、道路のストック効果、道の駅による地方創生の取り組み事例、ICTを活用したITSの推進などについて、港湾・漁港部門では最新の港湾・漁港行政施策、防災・減災対策、港湾施設の維持管理、港湾施設のストック効果、港湾施設を核とした地域振興、港湾事業におけるICT活用、国際競争力の強化などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は佐賀県・佐賀市(予定)の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴 講 料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
佐賀県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
佐賀県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
九州地区連合会管内の市町村に勤務	18,400円	2,000円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません。

③現 場 研 修 料：7,700円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数の「650」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申 込 締 切 日：平成30年12月25日(火) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成31年1月11日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成31年1月18日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記②を過ぎてからの取り消し		返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS(予定)」の認定講習会です。
【聴講／現場】全建：8.5単位／3.5単位、CPDS：(未定)

講習会情報については全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第650回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）日程
～道路行政及び港湾・漁港行政施策の最新情報と重要施策の具体の取り組み事例などを学ぶ～

（道 路）最新の道路行政施策、道路の老朽化対策、道路防災、交通安全対策、道路のストック効果、道の駅による地方創生の取り組み事例、ICTを活用したITSの推進 等
（港湾・漁港）最新の港湾・漁港行政施策、防災・減災対策、港湾施設の維持管理、港湾施設のストック効果、港湾施設を核とした地域振興、港湾事業におけるICT活用、国際競争力の強化 等

会場 …… 【合同／(2日) 道路】美術館ホール
〒840-0041 佐賀市内1-15-23 TEL0952-24-3947(代)
【(2日) 港湾・漁港】佐賀県庁（新館11階 大会議室）
〒840-8570 佐賀市内1-1-59 TEL0952-24-2111(代)

(1日目)		開場11:40		平成31年1月23日 (水) 【合同】美術館ホール		(敬称略)	
12:40 }	あいさつ			佐賀県知事 佐賀市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事		秋 山 幸 男	
13:00							
13:00 }	今後の建設行政と公務員技術者について			(一財)国土技術研究センター 理事長		谷 口 博 昭	
14:30							
14:40 }	いま社会資本に何が求められているのか ～つながる技術と仕組み、アウトプットからプロセス への時代へ～			(公社)土木学会 「ITSとインフラ・地域・まち づくり」研究小委員会 幹事委員 ((株)スマートインフラ総合研究所 所長)		吉 田 正	
15:40							
15:50 }	【地域事業の紹介①】 唐津港・伊万里港における港湾整備事業について			国土交通省九州地方整備局唐津港湾事務所工務課 課長		大 平 和 芳	
16:20							
16:20 }	【地域事業の紹介②】 有明海沿岸道路 六角川大橋の整備状況について			佐賀県県土整備部有明海沿岸道路整備事務所 工務第三担当係長		草 津 勝 信	
16:50							
		「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞ (17:30～19:00(予定))		ホテルニューオータニ佐賀 中2階「鶴の間」 TEL0952-23-1111			
(2日目)		開場 9:00		1月24日 (木) 【道路部門】美術館ホール		(敬称略)	
9:40 }	道路の老朽化対策の取組みについて			国土交通省道路局国道・技術課 道路メンテナンス企画室 室長		小 林 賢太郎	
10:40							
10:50 }	道路行政における主要政策課題について			国土交通省道路局企画課道路経済調査室 企画専門官		四童子 隆	
11:50							
13:00 }	ITSの推進について			国土交通省道路局道路交通管理課 高度道路交通システム推進室 企画専門官		馬 渡 真 吾	
14:00							
14:10 }	道路の防災対策について			国土交通省道路局環境安全・防災課 道路防災対策室 企画専門官		福 本 仁 志	
15:10							
15:20 }	交通安全対策を巡る最近の動向について			国土交通省道路局環境安全・防災課 道路交通安全対策室 室長		五十川 泰 史	
16:20							
16:20 }	閉会のあいさつ			佐賀県建設技術協会 会長 (佐賀県県土整備部長)		山 崎 日出男	
(2日目)		開場 9:00		1月24日 (木) 【港湾・漁港部門】佐賀県庁		(敬称略)	
9:40 }	漁港漁場行政における最新情報について			水産庁漁港漁場整備部計画課 課長補佐		中 村 克 彦	
10:40							
10:50 }	港湾行政における主要政策課題について			国土交通省港湾局計画課企画室 専門官		坂 井 啓 一	
11:50							
13:00 }	港湾事業におけるICTの活用について			国土交通省港湾局技術企画課 港湾工事安全推進官		野 呂 茂 樹	
14:00							
14:10 }	港湾施設の維持管理に関する取り組みについて			国土交通省港湾局技術企画課 港湾工事安全推進官		佐 藤 修	
15:10							
15:20 }	平成30年発生災害における被害とその復旧			国土交通省港湾局海岸・防災課災害対策室 室長		神 田 尚 樹	
16:20							
16:20 }	閉会のあいさつ			佐賀県建設技術協会 副会長 (佐賀県県土整備部 副部長)		王 丸 義 明	
(3日目)		集合 8:00～		1月25日 (金) 【現場研修】		(敬称略)	

佐嘉神社駐車場（8:15）出発
→ 有明海沿岸道路（佐賀福富道路）整備事業【六角川大橋】（下車説明） → 唐津港（東港地区）整備事業（下車説明）
→ 昼食（唐津市内） → 国営吉野ヶ里歴史公園整備事業（下車説明） → JR佐賀駅（16:15）／佐賀空港（17:00）着後解散
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。
全建CPD（継続教育）制度・CPDS（予定）認定プログラム 【聴講／現場】全建：8.5単位／3.5単位、CPDS：（未定）

第650回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 有明海沿岸道路（佐賀福富道路）整備事業【六角川大橋】…………… 小城市芦刈町～杵島郡白石町

- ・佐賀福富道路は、（仮）佐賀JCTから福富ICまでの約10.5km間の自動車専用道路で、有明海沿岸地域の都市と九州佐賀国際空港や三池港といった交通拠点との連携を強化する地域高規格道路である有明海沿岸道路の一部を構成。
- ・六角川を渡河する六角川大橋は全長982mで、渡河部が鋼4径間連続鋼床版箱桁橋、陸橋部が連続非合成鈑桁橋。
- ・有明海沿岸地域は日本有数の軟弱粘性土が相当の厚さ堆積しているため、地盤改良工法等について「佐賀県地域高規格道路軟弱地盤対策工法技術検討委員会を設置し検討。
- ・盛土の沈下対策について、具体的な工法としては、深層混合処理工法と一部に浅層混合処理工法を採用。
- ・盛土については、可能な限り建設発生土を用いてコスト削減を図り、橋台背面においては側方流動対策のため、気泡混合軽量土を採用。
- ・佐賀福富道路を含む有明海沿岸道路の整備については、有明海沿岸地域との広域的な交流促進による地域の発展や、九州佐賀国際空港の利用促進、集客圏域拡大に伴う観光振興等が期待されるとともに、災害発生時の緊急輸送道路として重要な道路である。



2 唐津港（東港地区）整備事業

…………… 唐津市東大島町

- ・唐津港が将来にわたって重要な役割を担っていく上での課題としては、既存港湾施設の維持管理や狭隘な埠頭用地の解消に加え、クルーズ船受け入れ環境の改善、震災等発生時の海上輸送ルート確保等があった。
- ・特に東港地区では、飛砂による周辺環境への影響回避や老朽化が著しい既存岸壁の改良など機能再生を伴う一体的な埠頭再整備が望まれていた。
- ・これらの課題や要請に対し東港地区の既存岸壁は、内貿ユニットロード及び緊急物資輸送に対応した水深9mの耐震強化岸壁へ改良するとともに、航路泊地の拡幅・増深、埠頭用地の再整備を行うこととなった。
- ・耐震強化岸壁には現地工事の効率化を図るため「格点式ストラット工法」を採用し、車止めは荷役作業や景観に配慮して設置している。本岸壁は平成28年4月に暫定水深7.4mで供用開始しており、現在は航路泊地の浚渫を進めている。また、周辺では快適で潤いのある緑地や統一的な景観形成に配慮した建築物の整備も行われている。



3 国営吉野ヶ里歴史公園整備事業

…………… 神崎市～神埼郡吉野ヶ里町

- ・国営吉野ヶ里歴史公園は、我が国固有の優れた文化的資産である吉野ヶ里遺跡の保存及び活用を図るため設置された国営公園。
- ・佐賀県神崎市、神埼郡吉野ヶ里町にまたがる丘陵地にあり、面積は約54ha。
- ・公園の周囲には、遺跡の環境保全及び歴史公園としての機能の充実を図るために約63haの県立公園が整備。
- ・総面積約117haの区域が一体的な歴史公園として整備され、整備の基本理念として、吉野ヶ里遺跡の保存を通じての本物へのこだわりと、適切な施設の復元やわかりやすい手触りの展示等の遺跡の活用を通じて、弥生時代を体感できる場を創出することとし、もって日本はもとより世界への情報発信の拠点している。
- ・現在は園内施設の維持補修を実施。



第650回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿 泊 斡 旋：宿泊希望者には佐賀市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前 (前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成31年1月22日(火)、23日(水)、24日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
アパホテル〈佐賀駅南口〉(旧佐賀ワシントンホテル) 佐賀市駅前中央1-164 TEL0952-25-1111	シングル	40名	8,500円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第650回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成31年1月23日(水) 17:30～19:00
(第650回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：ホテルニューオオタニ佐賀 中2階「鶴の間」

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

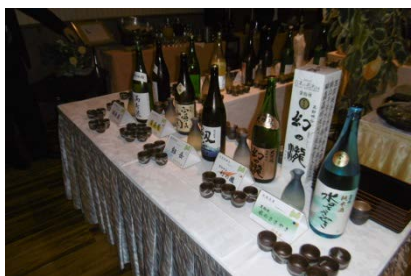
※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
※この交流会は会費制です。
※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- ・ (一財)国土技術研究センター 理事長 谷口 博昭 講師
- ・ (公社)土木学会「ITSとインフラ・地域・まちづくり」研究小委員会 幹事委員 吉田 正 講師
- ・ 国土交通省国土交通省道路局国道・技術課道路メンテナンス企画室 室長 小林賢太郎 講師
- ・ 国土交通省道路局環境安全・防災課道路交通安全対策室 室長 五十川泰史 講師
- ・ 国土交通省港湾局技術企画課 港湾工事安全推進官 野呂 茂樹 講師
- ・ 国土交通省港湾局技術企画課 港湾工事安全推進官 佐藤 修 講師

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)
※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

2会場となりますので、部門別の欄も必ず記入してください。

平成 年 月 日

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
(特別・賛助会員名、会社名)

第650回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）申込書

＜個人情報の取扱いについて＞
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			部門別		現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		(非会員)	会員	正会員 30歳未満	道路	港湾・漁港			予約日に○を記入して下さい		
										1月 22日	23日	24日
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
聴講料 ※一般／会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」 及び開催地区連合会管内の市町村(政令市除く)に勤務する「正会員」(賛助会員除く) 現場研修料 名×7,700円＝ 円 計 円 現場研修の昼食は不要の申し出はできません※										宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。		

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、割引価格(2,000円)で参加の場合、キャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。